

第2章 材料費の計算と記帳

学習の要点

1. 材料費とは
 - 材料費の勘定科目
 - 素材費、買入部品費、燃料費
 - 工場消耗品費、消耗工具器工具備品費
 - 直接材料費と間接材料費

2. 材料の仕入に関する手続き
 - 材料仕入の帳簿および証ひょう
 - 材料台帳、材料仕入帳、材料元帳
 - 材料購入請求書、注文書、材料受入報告書
 - 材料の購入原価
 - 購入原価 = 購入代金 + 取引に要した費用

3. 材料の払出に関する手続き
 - 材料払出の帳簿および証ひょう
 - 出庫伝票、材料仕訳帳、材料元帳

4. 材料消費高の計算
 - 消費数量の計算法
 - ① 継続記録法
 - ② 棚卸記録法
 - 消費価格の計算（原価法）
 - ① 先入先出法
 - ② 後入先出法
 - ③ 移動平均法
 - ④ 総平均法
 - 予定価格法
 - ① 消費材料勘定を設けて処理する方法
 - ② 材料費のみで処理する方法

◀ メモ ▶

[製造指図書]

製造指図書						指図書番号No. _____
品名・規格				数 量		摘要
受 注 先				注 文 書	No. _____ 平成 年 月 日	
発令月日	平成	年	月 日	完成月日	平成	年 月 日
納 期	月 日	引渡場所			入金条件	
担当職場	部 課 係					
販売課長	営業部長	担当重役	製造部長	製造課長	製造係長	
	→		→		→	

個別原価計算では、特定の製品ごとに生産命令書が発行され、製造原価をその生産命令書ごとに集計します。この場合の生産命令書を製造指図書といいます。

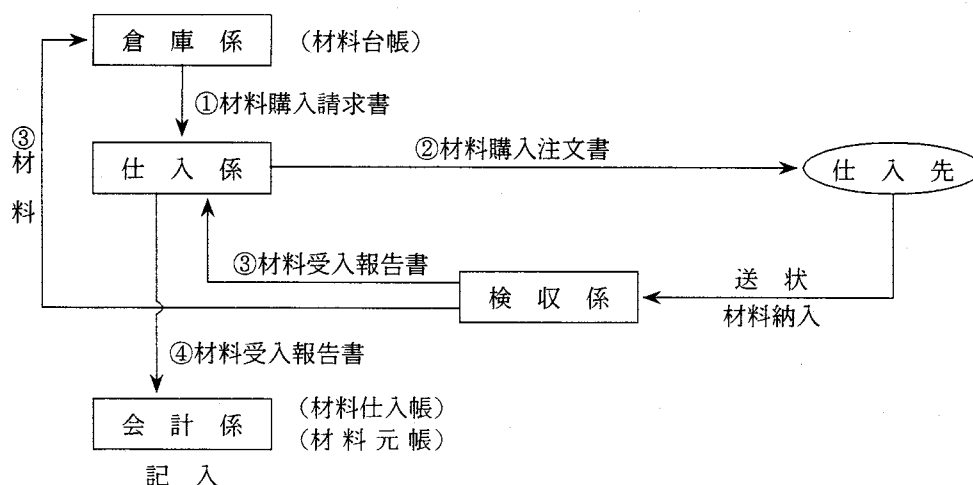
なお、様式については、企業によって多少異なります。

[材料の仕入手続きに関する解説]

仕入手続

一般的な材料の仕入手続を説明すると次の様になります。

- ① 倉庫係は材料の購入が必要となったとき、材料購入請求書を仕入係に提出する。
- ② 仕入係はこれを受けて、仕入先に対して購入注文書を発行する。
- ③ 注文した材料が納入されると検収係はこの材料を検査して材料受入報告書（＝入庫伝票）を作成し、この報告書を仕入係に提出するとともに材料を倉庫係に引渡す。
- ④ 倉庫係はこの材料を保管する。一方、仕入係は材料受入報告書が材料購入請求書の内容と一致しているか確認のうえ、それを会計に回す。
- ⑤ 会計係はこの材料受入報告書により材料仕入の記帳を行う。



演習コーナー

問題 1

1. 次の取引の仕訳をしましょう。

(1) 次の材料を仕入れ、代金は掛とした。なお取引費¥2,500は現金で支払った。

素 材 500個 @¥400 ¥200,000

(2) 次の材料を仕入れ、代金のうち¥100,000は小切手を振出して支払い、残額を掛とした。

部 品 400個 @¥800 ¥320,000

(3) 次の材料を仕入れ、代金は約束手形を振出して支払った。

工 場 消 耗 品 400個 @¥150 ¥60,000

燃 料 15kl @¥20,000 ¥300,000

(仕 訳)

(1)		
(2)		320,000
(3)	燃 料	60,000 300,000

メモ

[材料仕入帳の記帳例]

次の取引を材料仕入帳に記入する場合は。

7月2日 (株)東京商事から次のとおり掛で買入れた。
 素 材 ¥250,000 送り状 No.20

7月8日 新宿商店から次のとおり掛で買入れた。
 買 入 部 品 ¥30,000 送り状 No.11

7月13日 渋谷商事(株)から次のとおり現金で買入れた。
 工 場 消 耗 品 ¥45,000 送り状 No.6

(材料仕入帳の例)

材 料 仕 入 帳

平成 ×年	送状 番号	仕入先	摘要	元丁	借 方				元丁	貸 方		
					素 材	買入部品	工場消耗品	諸 口		買掛金	諸 口	
7	2	20	(株)東京商事	買掛金	20	250,000					250,000	
	8	11	新宿商店	"	11		30,000				30,000	
	13	6	渋谷商事(株)	現金	6			45,000				45,000
	13					750,000	60,000	45,000			810,000	45,000

(上の結果を受けて、次のような仕訳を行う。)

7/31	(素 材)	750,000	(買 掛 金)	810,000
	(買 入 部 品)	60,000	(諸 口)	45,000
	(工 場 消 耗 品)	45,000		

◀メモ▶

● 演習コーナー ●

問題 2 ●

1. 次の取引を材料仕入帳に記入し、月末にこれを締切り合計仕訳を行いましょう。

- 7月1日 中央商店から、素材¥850,000を掛で購入した。
- 5日 成城商店から、工場消耗品¥250,000を買い入れ、代金¥100,000を小切手（#101）を振出して支払い、残額を掛とした。
- 10日 北沢商店から、部品¥300,000を掛で購入した。
なお、取引運賃¥10,000を現金で支払った。
- 20日 新宿商店から、素材¥450,000を購入し、約束手形（#25）を振出して支払った。
- 30日 北沢商店から、部品¥200,000を掛で購入した。

材 料 仕 入 帳

平成 ×年	送状 番号	仕入先	摘要	借 方			元丁	貸 方	
				素 材	買入部品	工場消耗品		買掛金	諸 口
7	1								
	5								
	10								
	20								
	30								

1,300,000	1,500,000
510,000	560,000
250,000	

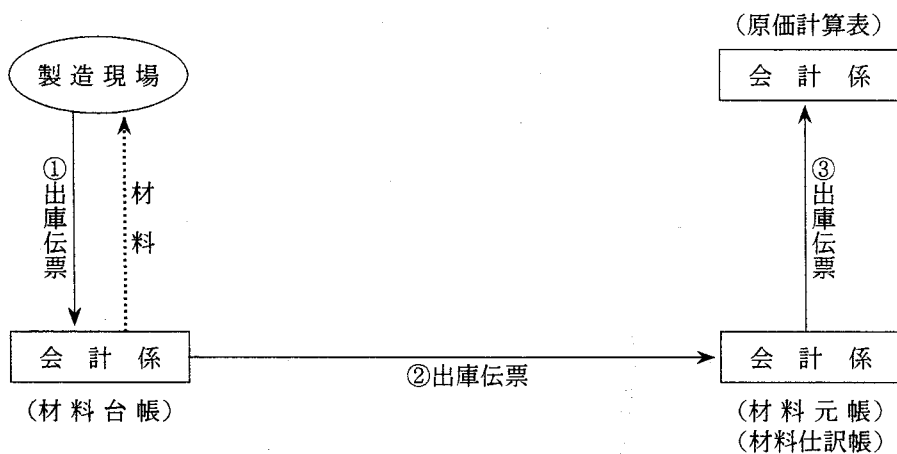
◀ メモ ▶

[材料の払出手続きに関する解説]

払出手続

一般的な材料の払出手続を説明すると次の様になります。

- ① 製造現場は倉庫係に出庫伝票を提出します。
- ② 倉庫係は、製造現場に材料を出庫するとともに、材料台帳に記入し、出庫伝票を会計係に回します。
- ③ 会計係は、材料元帳に記入することにより消費単価を計算し、単価、金額を出庫伝票に記入して、これを原価計算係に回します。
- ④ 原価計算係は、この出庫伝票をもとにして材料費を計算します。



メモ

[材料仕訳帳の記帳例]

次の資料から、材料仕訳帳に記入して、7月中の各材料の消費高を計算する場合。

7月10日	素	材	¥250,000	出庫伝票6枚(製造指図書#1)
7月20日	素	材	¥120,000	出庫伝票3枚(製造指図書#2)
	買入	部品	¥70,000	出庫伝票2枚(製造指図書#2)
	素	材	¥120,000	出庫伝票5枚(製造指図書#3)
	買入	部品	¥40,000	出庫伝票2枚(製造指図書#3)
	工場	消耗品	¥21,000	
	消耗	工具器具備品	¥15,000	
	燃	料	¥16,000	

(材料仕訳帳の記入例)

材 料 仕 訳 帳

平成 ○年	伝票 枚数	摘 要	借 方		貸 方					
			製 造	製造間接費	素 材	買入部品	燃 料	工場消耗品	消耗工具器具備品	
7	10		250,000		250,000					
	20		190,000		120,000	70,000				
	30		160,000		120,000	40,000				
	"			52,000				16,000	21,000	15,000
	"		600,000	52,000	490,000	110,000	16,000	21,000		15,000

(上の結果をうけて、次のような仕訳を行う)

(製 造)	600,000	(素 材)	490,000
(製 造 間 接 費)	52,000	(買 入 部 品)	110,000
		(燃 料)	16,000
		(工 場 消 耗 品)	21,000
		(消耗工具器具備品)	15,000

[材料元帳の記帳例]

素材Aの受け入れ・払い出しの記録は次のとおりである。これを材料元帳に先入先出法・後入先出法・移動平均法・総平均法によって記入し、それぞれの消費高を計算してみよう。

6月1日	前期繰越	200kg	@¥200	¥40,000
8日	受入高	300kg	@¥240	¥72,000
15日	払出高	300kg		
20日	受入高	250kg	@¥260	¥65,000
25日	払出高	250kg		

材 料 元 帳

(先入先出法)

素 材 A

平成 〇年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1 前月繰越	200	200	40,000				200	200	40,000
	8 受入	300	240	72,000				{ 200	200	40,000
								{ 300	240	72,000
	15 払出				{ 200	200	40,000			
					{ 100	240	24,000	200	240	48,000
	20 受入	250	260	65,000				{ 200	240	48,000
								{ 250	260	65,000
	25 払出				{ 200	240	48,000			
					{ 50	260	13,000	200	260	52,000
	30 次月繰越				200	260	52,000			
		750		177,000	750		177,000			
7	1 前期繰越	200	260	52,000				200	260	52,000

素材Aの消費高は払出欄の払出金額の合計である。……¥40,000+¥24,000+¥48,000+¥13,000=¥125,000

材 料 元 帳

(後入先出法)

素 材 A

平成 〇年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1 前月繰越	200	200	40,000				200	200	40,000
	8 受入	300	240	72,000				{ 200	200	40,000
								{ 300	240	72,000
	15 払出				300		72,000	200	200	40,000
	20 受入	250	260	65,000		240		{ 200	200	40,000
								{ 250	260	65,000
	25 払出				250	260	65,000	200	200	40,000
	30 次月繰越				200	200	40,000			
		750		177,000	750	200	177,000			
7	1 前期繰越	200	200	40,000				200	200	40,000

素材Aの消費高……¥72,000+¥65,000=¥137,000

材 料 元 帳

(移動平均法)

素 材 A

平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1 前月繰越	200	200	40,000				200	200	40,000
	8 受 入	300	240	72,000				500	224 ^①	112,000
	15 払 出				300	224	67,200	200	224	44,800
	20 受 入	250	260	65,000				450	244 ^②	109,800
	25 払 出				250	244	61,000	200	244	48,800
	30 次月繰越				200	244	48,800			
		750		177,000	750		177,000			
7	1 前月繰越	200	244	48,800				200	244	48,800

素材Aの消費高…… $\yen 67,200 + \yen 61,000 = \yen 128,200$

(注) 1. $(\yen 40,000 + \yen 72,000) \div (200 + 300) = \yen 224$

2. $(\yen 44,800 + \yen 65,000) \div (200 + 250) = \yen 224$

材 料 元 帳

(総平均法)

素 材 A

平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1 前月繰越	200	200	40,000				200	200	40,000
	8 受 入	300	240	72,000				500		
	15 払 出				300	236 ^①	70,800	200		
	20 受 入	250	260	65,000				450		
	25 払 出				250	236	59,000	200	236	47,200
	30 次月繰越				200	236	47,200			
		750		177,000	750		177,000			
7	1 前月繰越	200	236	47,200				200	236	47,200

素材Aの消費高…… $\yen 70,800 + \yen 59,000 = \yen 129,800$

(注) $\yen 177,000 \div 750 = \yen 236$

●メモ●

材 料 元 帳

(先入先出法)

平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残		高
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額

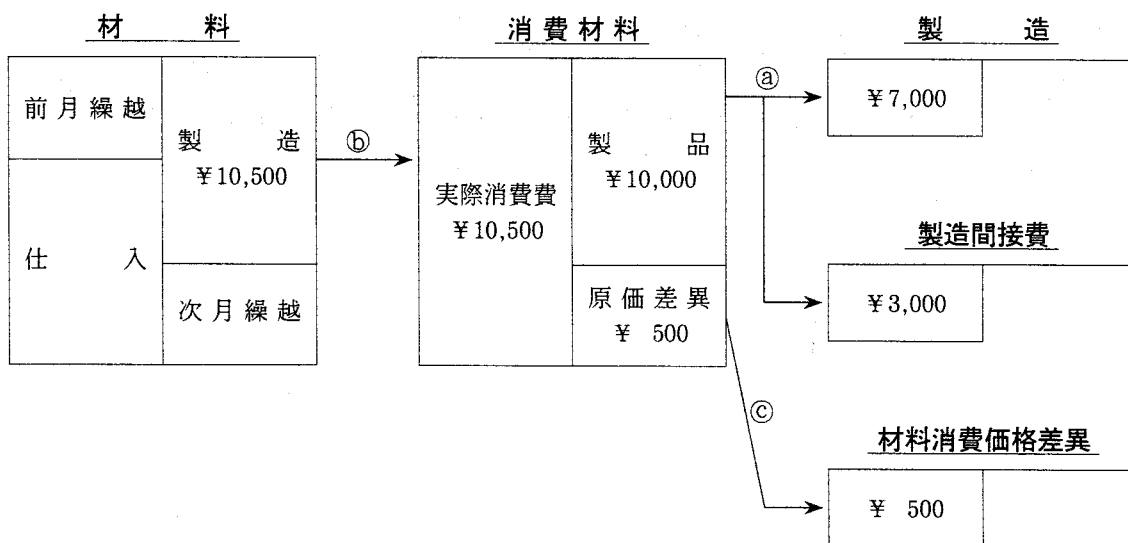
材 料 元 帳

(後入先出法)

平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残		高
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額

[材料消費額の予定価格法を採用している場合の勘定連絡図]

① 消費材料勘定を設けて処理する方法 (図1)



メモ

● 演習コーナー ●

問題 5 ●

1. 次の取引の仕訳を行い、勘定記入をしましょう。(締切は不要)

(1) 材料を次のように消費した。なお、予定価格は¥120であった。

直接分 1,300kg
間接分 250kg

(2) 今月の材料費の実際額を先入先出法で計算した。前月からの繰越分は500kg@¥110であり、当月仕入分は1,700kg購入原価¥221,000であった。

(3) 材料費の差異を材料消費価格差異^{a/c}に振替した。

(1)		
(2)		
(3)		

材 料

消 費 材 料

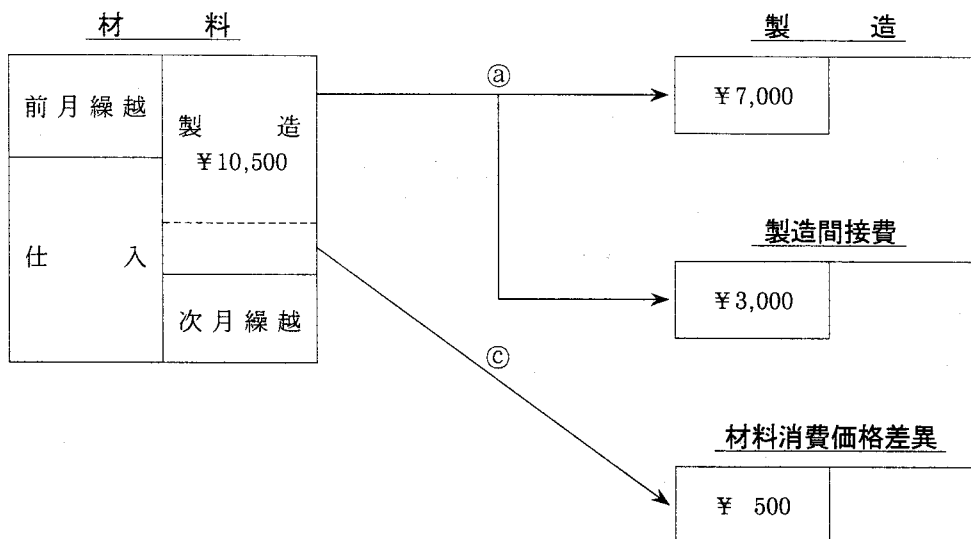
前月繰越	55,000		
諸 口	221,000		

製 造

製 造 間 接 費

材料消費価格差異

② 材料勘定のみで処理する方法 (図2)

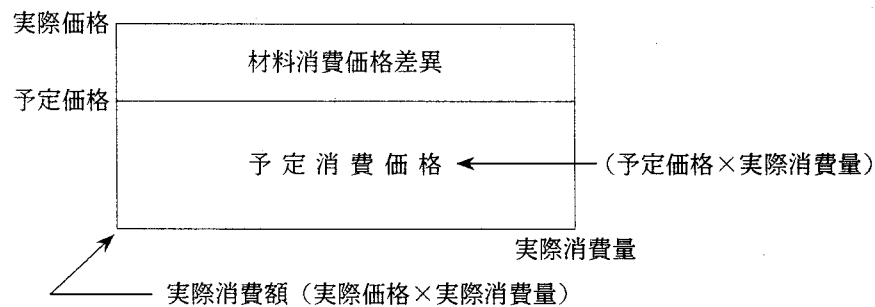


メモ

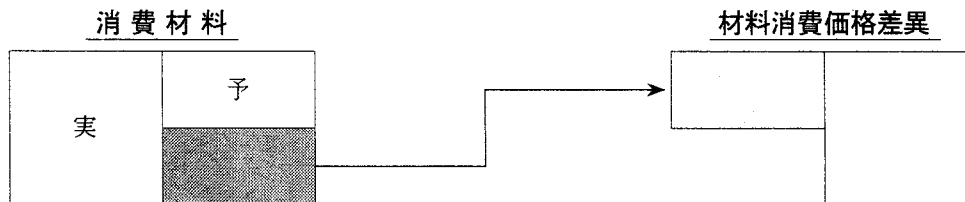
[原価差異の計上方法]

予定価格と実際価格には差異が生じますが、これは次のように計算します。

$$(\text{予定価格} - \text{実際価格}) \times \text{実際消費量} = \text{材料消費価格差異}$$



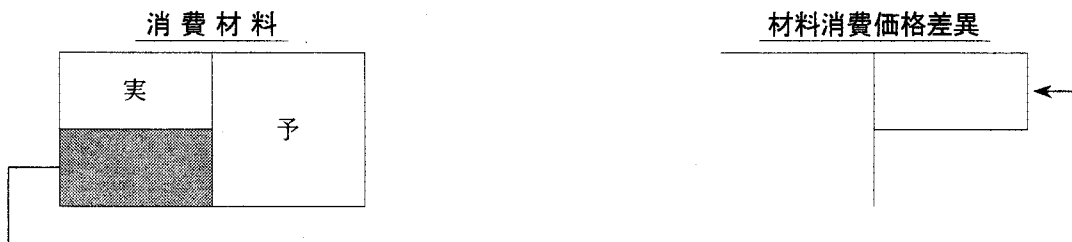
- 借方差異 (予定消費額 < 実際消費額)



借方差異は、実際消費額が大きい場合です。これは、次の仕訳によって材料消費価格差異^{a/c}に振替えます。

(材料消費価格差異) ××× (消費材料) ×××

- 貸方差異 (予定消費額 > 実際消費額)



貸方差異は、予定消費額が大きい場合です。これは、次の仕訳によって材料消費価格差異^{a/c}に振替えます。

(消費材料) ××× (材料消費価格差異) ×××

なお、原価差異の処理については、原則として当期の売上原価に賦課 (期末) します。

売上原価 ××× 材料消費価格差異 ×××

演習コーナー

問題 6

1. 次の取引の仕訳をし、与えられた勘定に転記するとともに、指図書別原価計算表（一部）に記入しましょう。

(1) 材料を次のように消費した。なお、予定価格は¥120であった。

直接分 1,300kg (指図書 #101、820kg, #102、480kg)

間接分 250kg

(2) 今月の材料費の実際額を先入先出法で計算した。前月からの繰越分は500kg@¥110であり、当月仕入分は1,700kg、購入原価¥221,000であった。

(3) 材料費の差異を材料消費価格差異a/cに振替えた。

(1)		
(2)		
(3)		

<u>材 料</u>		<u>材料消費価格差異</u>	
前月繰越	55,000		
諸 口	221,000		

<u>製 造</u>		<u>製造間接費</u>	

<u>製造指図書 #101</u>	
直接材料費	_____ 円
直接労務費	

<u>製造指図書 #102</u>	
直接材料費	_____ 円
直接労務費	